



ハーブとほうじ茶の ブレンドティー開発

茶葉や茶道具を販売するお茶の亀屋翠松園（高松市丸亀町）は、五色台ハーブ園（同市中山町）との共同で、ハーブと日本茶をブレンドしたお茶「一香一茶」＝写真＝を開発した。第一弾として、ローズマリーとほうじ茶をミックスしたお茶を製品化し、販売を始めた。
ハーブの癒やし効果を生かし、和と洋を融合させたユニー

お茶の亀屋翠松園と五色台ハーブ園

さっぱりとした口当たり

クなブレンド茶を作ろうと企画した。ローズマリーとほうじ茶は、茶葉の特徴を最も引き出す適温に近い点に着目。さっぱりとした口当たりで、ケーキなどの洋菓子にも合うという。

茶葉を独自の割合で配合。入れ方次第でほうじ茶の味わいやハーブの香りの強さなどが変わり、毎回違った風味が楽しめる。お茶の亀屋翠松園は「自分のこだわり」の味を見つけてほしい」としている。

茶葉のみでの販売で、価格は缶入り（80g）が1500円、袋詰め（40g）が700円。両社などで販売している。